

厚生労働大臣の定める揭示事項

1. 当院は、厚生労働大臣の定める基準に基づいて診療を行っている保険医療機関です。

2. 入院基本料に関する事項

◎ 3階東病棟では、1日に13人以上の看護職員（看護師及び准看護師）が勤務しています。

なお、時間帯毎の配置は次のとおりです。

- ・ 8時30分から16時30分まで、看護職員1人当たりの受け持ち数は5人以内です。
- ・ 16時30分から翌0時30分まで、看護職員1人当たりの受け持ち数は13人以内です。
- ・ 0時30分から8時30分まで、看護職員1人当たりの受け持ち数は13人以内です。

◎ 3階西病棟では、1日に20人以上の看護職員（看護師及び准看護師）が勤務しています。

なお、時間帯毎の配置は次のとおりです。

- ・ 8時30分から16時30分まで、看護職員1人当たりの受け持ち数は4人以内です。
- ・ 16時30分から翌0時30分まで、看護職員1人当たりの受け持ち数は11人以内です。
- ・ 0時30分から8時30分まで、看護職員1人当たりの受け持ち数は11人以内です。

◎ 4階病棟では、1日に22人以上の看護職員（看護師及び准看護師）が勤務しています。

なお、時間帯毎の配置は次のとおりです。

- ・ 8時30分から16時30分まで、看護職員1人当たりの受け持ち数は2人以内です。
- ・ 16時30分から翌0時30分まで、看護職員1人当たりの受け持ち数は8人以内です。
- ・ 0時30分から8時30分まで、看護職員1人当たりの受け持ち数は8人以内です。

※ ただし、地域包括ケア病床の20床を含んだ換算としている。

3. 入院診療計画、院内感染防止対策、医療安全管理体制、褥瘡対策、栄養管理体制、意思決定支援、身体的拘束最小化について

当院では、入院の際に医師をはじめとする関係職員が共同して、患者さんに関する診療計画を策定し、7日以内に文書によりお渡ししております。また厚生労働大臣が定める院内感染防止対策、医療安全管理体制、褥瘡対策及び栄養管理体制の基準を満たしております。厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえ、適切な意思決定支援に関する指針を定めております。多職種による身体的拘束最小化チームを設置し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束を行わない取り組みをおこなっております。

4. DPC対象病院について

当院は入院医療費の算定に当たり、平成23年4月より、包括請求と出来高請求を組み合わせる算定する「DPC対象病院」となっております。

※ 医療機関別係数 1.4095（基礎係数 1.0283+機能評価係数Ⅰ 0.2804+機能評価係数Ⅱ 0.0774+救急

補正係数 0.0234)

※ 令和8年9月時点

5. 明細書発行体制について

医療の透明化や患者さんへの情報提供を推進していく観点から、領収証の発行の際に、個別の診療報酬の算定項目の判る明細書を無料で発行しています。また、公費負担医療の受給者で医療費の自己負担の無い方についても、明細書を無料で発行しております。明細書には、使用した医薬品の名称や行われた検査の名称が記載されるものですので、その点を ご理解いただき、ご家族が代理で会計を行う場合のその代理の方への発行を含めて、明細書の発行を希望されない方は、総合窓口にてその旨お申し出ください。

6. 当院は四国厚生支局長に下記の届出を行っております。

◎ 入院時食事療養費（Ⅰ）を算定すべき食事療養の基準に係る届出

当院は、入院時食事療養費に関する特別管理により食事の提供を行っております。療養のための食事は、管理栄養士の管理の下に適時（朝食 7 時 30 分、昼食 12 時、夕食 18 時）適温で 提供しております。

◎ 基本診療料の施設基準等に係る届出

- | | |
|----------------------|------------------------|
| ・ 電子的診療情報連携体制整備加算 3 | ・ 感染対策向上加算 1 |
| ・ 初診料（歯科）の注 1 に掲げる基準 | ・ 患者サポート体制充実加算 |
| ・ 歯科外来診療医療安全対策加算 1 | ・ 報告書管理体制加算 |
| ・ 歯科外来診療感染対策加算 1 | ・ ハイリスク妊娠管理加算 |
| ・ 歯科外来診療感染対策加算 2 | ・ 地域支援・医薬品供給対応体制加算 2 |
| ・ 一般病棟入院基本料 | ・ 病棟薬剤業務実施加算 2 |
| ・ 救急医療管理加算 | ・ データ提出加算 |
| ・ 超急性期脳卒中加算 | ・ 入退院支援加算 |
| ・ 診療録管理体制加算 2 | ・ 認知症ケア加算 |
| ・ 医師事務作業補助体制加算 1 | ・ せん妄ハイリスク患者ケア加算 |
| ・ 急性期看護補助体制加算 | ・ 協力対象施設入所者入院加算 |
| ・ 療養環境加算 | ・ 回復期リハビリテーション病棟入院料 1 |
| ・ 重症者等療養環境特別加算 | ・ 地域包括ケア病棟入院料 1 及び地域包括 |
| ・ 栄養サポートチーム加算 | ケア入院医療管理料 1 |
| ・ 医療安全対策加算 1 | |

◎ 特掲診療料の施設基準等に係る届出

- | | |
|------------------------|-------------|
| ・ 心臓ペースメーカー指導管理料の注 5 に | ・ 喘息治療管理料 |
| 規定する遠隔モニタリング加算 | ・ 糖尿病合併症管理料 |

- ・がん性疼痛緩和指導管理料
- ・がん患者指導管理料イ
- ・がん患者指導管理料ロ
- ・小児運動器疾患指導管理料
- ・婦人科特定疾患治療管理料
- ・二次性骨折予防継続管理料 1
- ・二次性骨折予防継続管理料 2
- ・二次性骨折予防継続管理料 3
- ・下肢創傷処置管理料
- ・地域連携小児夜間・休日診療料の注 2、地域連携夜間・休日診療料の注 2 及び救急外来医学管理料の注 7 に規定する院内トリアージ実施体制加算
- ・救急外来医学管理料 2 及び同注 3 に規定する救急外来緊急検査対応加算 2
- ・救急患者連携搬送料 2
- ・外来腫瘍化学療法診療料 2
- ・ニコチン依存症管理料
- ・がん治療連携指導料
- ・薬剤管理指導料
- ・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
- ・医療機器安全管理料 1
- ・医療機器安全管理料 2
- ・在宅患者訪問診療料（Ⅰ）の注 13（在宅患者訪問診療料（Ⅱ）の注 6 の規定により準用する場合を含む。）、在宅がん医療総合診療料の注 8 及び歯科訪問診療料の注 20 に規定する在宅医療 D X 情報活用加算
- ・在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注 2
- ・BRCA1／2 遺伝子検査
- ・先天性代謝異常症検査
- ・HPV 核酸検出及び HPV 核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
- ・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
- ・検体検査管理加算（Ⅰ）
- ・検体検査管理加算（Ⅱ）
- ・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
- ・ヘッドアップティルト試験
- ・小児食物アレルギー負荷検査
- ・CT 透視下気管支鏡検査加算
- ・経気管支凍結生検法
- ・画像診断管理加算 2
- ・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影（アミロイド PET イメージング剤を用いた場合を除く。）
- ・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影（アミロイド PET イメージング剤を用いた場合に限る。）
- ・CT 撮影及び MRI 撮影
- ・冠動脈 CT 撮影加算
- ・心臓 MRI 撮影加算
- ・乳房 MRI 撮影加算
- ・外来化学療法加算 2
- ・無菌製剤処理料
- ・脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）
- ・運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
- ・呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）
- ・がん患者リハビリテーション料
- ・集団コミュニケーション療法料
- ・歯科口腔リハビリテーション料 2
- ・人工腎臓
- ・導入期加算 1
- ・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
- ・下肢末梢動脈疾患指導管理加算
- ・歯科技工士連携加算 1 及び光学印象歯科技工士連携加算
- ・CAD／CAM 冠及び CAD／CAM インレー
- ・口腔機能実地指導料
- ・3 次元プリント有床義歯
- ・歯科技工加算 1 及び 2
- ・乳癌センチネルリンパ節生検加算 2 及び

- センチネルリンパ節生検（単独）
- ・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
- ・大動脈バルーンパンピング法（IABP法）
- ・腹腔鏡下リンパ節群郭清術（傍大動脈）
- ・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
- ・人工尿道括約筋植込・置換術
- ・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
- ・輸血管理料Ⅱ
- ・輸血適正使用加算
- ・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
- ・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
- ・麻酔管理料（Ⅰ）
- ・クラウン・ブリッジ維持管理料
- ・看護職員処遇改善評価料54
- ・外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）
- ・歯科外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）
- ・入院ベースアップ評価料119
- ・歯科外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）
- ・酸素の購入単価

7. 保険外負担に関する事項

当院では、個室使用料、証明書・診断書などにつきまして、その利用日数に応じた実費のご負担をお願いしております。

◎ 特別療養環境の提供

病院本館3階 回復期リハビリテーション病棟

号 室	定 員	面 積	1床当り 面 積	室料差額	備 考
306	1名	12.57 m ²	12.57 m ²	¥5,500	
307	1名	12.57 m ²	12.57 m ²	¥5,500	
308	1名	12.57 m ²	12.57 m ²	¥5,500	
313	2名	19.53 m ²	9.76 m ²	¥4,000	トイレ無
315	2名	19.80 m ²	9.90 m ²	¥4,000	トイレ無

病院本館3階 急性期一般病棟（外科系）

号 室	定 員	面 積	1床当り 面 積	室料差額	備 考
301	1名	12.56 m ²	12.56 m ²	¥5,500	
302	1名	12.56 m ²	12.56 m ²	¥5,500	
303	1名	12.56 m ²	12.56 m ²	¥5,500	
351	1名	12.74 m ²	12.74 m ²	¥5,500	
352	1名	12.38 m ²	12.38 m ²	¥5,500	
353	1名	12.56 m ²	12.56 m ²	¥5,500	
355	1名	12.56 m ²	12.56 m ²	¥5,500	
356	1名	12.56 m ²	12.56 m ²	¥5,500	
357	1名	12.56 m ²	12.56 m ²	¥5,500	
358	1名	12.56 m ²	12.56 m ²	¥5,500	

360	1 名	12.56 m ²	12.56 m ²	¥5,500	
361	1 名	12.56 m ²	12.56 m ²	¥5,500	
362	1 名	12.56 m ²	12.56 m ²	¥5,500	
363	1 名	12.56 m ²	12.56 m ²	¥5,500	
365	1 名	12.56 m ²	12.56 m ²	¥5,500	
366	1 名	14.19 m ²	14.19 m ²	¥5,500	
367	3 名	33.73 m ²	11.24 m ²	¥1,500	
368	2 名	20.88 m ²	10.44 m ²	¥4,000	トイレ無
370	2 名	20.77 m ²	10.38 m ²	¥4,000	トイレ無
371	1 名	13.66 m ²	13.66 m ²	¥5,500	
372	3 名	33.63 m ²	11.21 m ²	¥1,500	
373	3 名	33.63 m ²	11.21 m ²	¥1,500	

病院本館 4 階 急性期一般病棟 (40 床)

号 室	定 員	面 積	1 床当り 面 積	室料差額	備 考
401	1 名	12.56 m ²	12.56 m ²	¥5,500	
402	1 名	12.56 m ²	12.56 m ²	¥5,500	
403	1 名	12.56 m ²	12.56 m ²	¥5,500	
405	1 名	12.56 m ²	12.56 m ²	¥5,500	
406	1 名	12.56 m ²	12.56 m ²	¥5,500	
407	1 名	12.56 m ²	12.56 m ²	¥5,500	
408	1 名	12.56 m ²	12.56 m ²	¥5,500	
410	1 名	12.56 m ²	12.56 m ²	¥5,500	
411	1 名	12.56 m ²	12.56 m ²	¥5,500	
412	1 名	12.57 m ²	12.57 m ²	¥5,500	
413	1 名	14.19 m ²	14.19 m ²	¥5,500	
415	2 名	32.02 m ²	16.01 m ²	¥2,000	
416	1 名	19.55 m ²	19.55 m ²	¥4,500	トイレ無
417	1 名	19.80 m ²	19.80 m ²	¥4,500	トイレ無
418	2 名	34.40 m ²	17.20 m ²	¥2,000	
420	2 名	33.63 m ²	16.81 m ²	¥2,000	
421	2 名	33.63 m ²	16.81 m ²	¥2,000	

病院本館 4 階 地域包括ケア病床 (20 床)

号 室	定 員	面 積	1 床当り 面 積	室料差額	備 考
451	1 名	12.75 m ²	12.75 m ²	¥5,500	

452	1 名	12.75 m ²	12.75 m ²	¥5,500	
453	1 名	12.75 m ²	12.75 m ²	¥5,500	
455	1 名	12.75 m ²	12.75 m ²	¥5,500	
456	1 名	12.75 m ²	12.75 m ²	¥5,500	
457	1 名	12.75 m ²	12.75 m ²	¥5,500	
458	1 名	12.75 m ²	12.75 m ²	¥5,500	
460	1 名	12.75 m ²	12.75 m ²	¥5,500	
461	1 名	12.75 m ²	12.75 m ²	¥5,500	
462	1 名	12.75 m ²	12.75 m ²	¥5,500	
463	1 名	12.75 m ²	12.75 m ²	¥5,500	
465	1 名	12.75 m ²	12.75 m ²	¥5,500	
466	1 名	14.19 m ²	14.19 m ²	¥5,500	
481	1 名	10.28 m ²	10.28 m ²	¥4,500	トイレ無
482	1 名	10.38 m ²	10.38 m ²	¥4,500	トイレ無

◎ 診断書・証明書及び保険外負担に係る費用

項 目		税込価格
証明書・診断書（当院書式による簡単なもの）	1 通	1,650 円
証明書・診断書（生命保険会社用）	1 通	3,300 円
証明書・診断書（損害保険会社用）	1 通	4,400 円
支払証明（外来）	1 通	880 円
支払証明（入院）	1 通	1,100 円
死亡診断書	1 通	3,300 円
死体検案書	1 通	5,500 円
セーフティセット	1 式	5,500 円
おむつM（マキシM）	1 枚	148 円
おむつL（マキシL）	1 枚	174 円
アテントM（おむつ）	1 枚	167 円
アテントL（おむつ）	1 枚	188 円
スリップ マキシM（おむつ）	1 箱	1,278 円
スリップ マキシL（おむつ）	1 箱	1,404 円
リハビリパンツM	1 枚	105 円
リハビリパンツL	1 枚	120 円
尿取りパット	1 枚	40 円
腹帯	1 枚	660 円
ねまき代	1 着	1,571 円
洗濯代	1 回	330 円

診察券	1 枚	110 円
薬瓶・容器代	1 個	55 円
インプラント		
・CT 撮影、診断料	1 回	44,000 円
・インプラント埋入（1 本目）	1 回	206,800 円
・インプラント埋入（2 本目以降）	1 回	104,500 円
・骨移植 A（ソケットリフト、GBR）材料費込	1 回	33,000 円
・骨移植 B（サイナスリフト、顎堤増大術）材料費込	1 回	55,000 円
・インプラント上部構造仮歯	1 回	11,000 円
・インプラント上部構造最終補綴	1 回	253,000 円
・アタッチメント（磁性、ボールロケーター等）	1 回	88,000 円
・アタッチメント（テレスコープ、バー等）	1 回	178,200 円
・インプラント補綴修理（1 歯につき、メタルを含む）	1 回	66,000 円
・インプラント補綴修理（1 歯につき、メタルを含まない）	1 回	33,000 円
ホワイトニング（歯牙漂白）		
・ホームホワイトニング	片顎	22,000 円
・ホームホワイトニング	全顎	33,000 円
・追加ジェル	1 本	1,650 円
・オフィスホワイトニング（1 歯あたり）	1 回	3,300 円
・ウォーキングブリーチ（1 歯あたり）	1 回	3,300 円
鑄造冠（金合金）		
・ゴールドクラウン	1 歯	68,200 円
・ゴールドインレー（I 級・単純）	1 歯	35,200 円
・パラジウムクラウン	1 歯	33,000 円
エスティック冠		
・セラミックインレー	1 歯	33,000 円
・硬質レジン前装冠	1 歯	55,000 円
・オールジルコニアクラウン	1 歯	88,000 円
・メタルボンド冠	1 歯	81,400 円
・オールセラミックス冠	1 歯	85,800 円
金属床総義歯		
・金	片顎	275,000 円
・白金加金	片顎	275,000 円
・コバルトクロム	片顎	165,000 円
・チタン	片顎	220,000 円
妊婦初診料 【非課税】		4,700 円

妊婦再診料	【非課税】	700 円
妊婦・定期健診	【非課税】 1 回	3,000 円
帝王切開術（介護料）	【非課税】	125,000 円
分娩料・時間内	【非課税】	140,000 円
分娩料・時間外	【非課税】	150,000 円
分娩料・深夜及び休日	【非課税】	160,000 円
新生児用品	【非課税】	450 円
産褥用品	【非課税】 1 式	5,500 円
新生児・入院保育料	【非課税】	6,000 円

◎ 入院期間が 180 日を超える場合の費用

同じ症状による通算の入院が、180 日を超えた日から選定療養対象となり、入院基本料の 15%は特定療養費として患者さまのご負担（1 日につき 2,722 円）となります。

なお、180 日を超える入院であっても、15 歳未満の患者さんや、難病、人工呼吸器を使用している状態など、厚生労働大臣が定める状態である患者さんは、健康保険が適応されます。

8. 患者相談窓口について

当院では、「患者相談窓口」を病院エントランス入ってすぐに設置していますので、お気軽にご利用ください。患者さまの立場に立ち、問題解決のためのお手伝いをします。

9. 栄養サポートチームによる診療について

当院では、栄養状態の悪い患者様に対して、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士など、さまざまな職種のメンバーにより、適切な栄養管理を行い、全身状態の改善に取り組んでいます。

10. 後発医薬品（ジェネリック医薬品）について

当院では、後発医薬品（ジェネリック医薬品）を積極的に採用しています。

11. 透析患者さんの下肢末梢動脈疾患に対する取り組みについて

当院では、慢性維持透析を行っている患者さんに対し、下肢末梢動脈疾患の検査を行っています。検査の結果、専門的な治療が必要と判断した場合は、院内の専門診療科と連携し治療する体制を有しています。

12. 電子的診療情報連携体制整備加算について

当院は、オンライン請求及びオンライン資格確認を行う体制を有し、薬剤情報・特定健診情報、その他必要な情報を取得・活用して診療を行っています。診療情報を取得・活用することにより、質の高い医療の提供に努めています。併せて、当院では以下の通り対応を行っています。

(1) レセプトオンライン請求を行っています。

- (2) 算定した診療報酬の内訳を記載した明細書を無償で交付しています。
- (3) オンライン資格確認を行う体制を有しています。
- (4) 医師が、電子資格確認を利用して取得した診療情報を、診療を行う診察室、手術室又は処置室等において、閲覧又は活用できる体制を有しています。
- (5) マイナンバーカードの健康保険証利用の使用に関して、一定程度の実績を有しています。
- (6) 電子処方箋を発行する体制については、電子カルテメーカーと協議中です。
- (7) 電子カルテ情報共有サービスを活用できる体制については、電子カルテメーカーと協議中です。

1 3. 地域支援・医薬品供給対応体制加算について

- (1) 当院では、後発医薬品（ジェネリック医薬品）を積極的に採用しており、地域支援・医薬品供給対応体制加算を算定しています。
- (2) 当院では、医薬品の供給が不足した場合に、医薬品の 処方等の変更等に関して適切な対応ができる体制を整えております。医薬品の供給状況によって投与する薬剤が変更となる可能性があります、その際は患者様にご説明いたします。
- (3) 当院では、平時より地域の保険医療機関、保険薬局及び医療関係団体と連携し、取り扱う医薬品の品目について情報共有や調整に取り組んでおります。

1 4. 一般名処方加算について

- (1) 当院では、後発医薬品の使用促進を図るとともに、医薬品の安定供給に向けた取り組みなどを実施しています。
- (2) 当院では、後発医薬品のある医薬品について、特定の医薬品名を指定するのではなく、薬剤の成分をもとにした一般名処方を行う場合があります。そうすることで供給不足のお薬であっても有効成分が同じ複数のお薬が選択でき、患者様に必要なお薬が提供しやすくなります。ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

1 5. 長期処方・リフィル処方せんについて

当院では患者さんの状態に応じ、28 日以上 of 長期の処方を行うこと、リフィル処方せんを発行することのいずれの対応も可能です。ただし、長期処方やリフィル処方せんの交付については病状に応じて担当医が判断いたします。

1 6. 協力対象施設入所者入院加算について

当 院 は 、 次 の 介護保険施設等の協力医療機関として定められており、介護保険施設等の入所者の病状が急変した場合等において、入院を要すると認められた入所者の入院を原則として当該保険医療機関が受け入れる体制を確保しています。

◎ 特別養護老人ホーム

綾川町	楽々苑	綾歌郡綾川町滝宮 380 番地
-----	-----	-----------------

綾川町	松林荘	綾歌郡綾川町山田下 435 番地 4
高松市	岡本荘	高松市岡本町 527 番地 1
丸亀市	宝樹リノ	丸亀市綾歌町栗熊東 782 番地
まんのう町	満濃荘	仲多度郡まんのう町長尾 1102 番地
琴平町	クレールみどり	仲多度郡琴平町苗田字中森 402 番地 1

◎ 介護老人保健施設

綾川町	あやがわ	綾歌郡綾川町陶 1720 番地 1
高松市	香南苑	高松市香南町池内 701 番地
丸亀市	瀬戸荘	丸亀市綾歌町岡田下 500 番地 1
	桃源苑	丸亀市飯山町下法軍寺 865 番地 1
まんのう町	グリーンヒル満濃	仲多度郡まんのう町岸上 1638 番地 30
琴平町	ふぁみりえ	仲多度郡琴平町 378 番地 1

◎ 介護医療院

琴平町	おおにし介護医療院	仲多度郡琴平町 350 番地 10
-----	-----------	-------------------

17. 厚生労働省が定める手術に関する施設基準に係る実績について（令和7年1月～12月）

◎ 院内掲示をする手術件数

・区分1に分類される手術

		手術の件数
ア	頭蓋内腫瘍摘出術等	0
イ	黄斑下手術等	0
ウ	鼓室形成手術等	0
エ	肺悪性腫瘍手術等	0
オ	経皮的カテーテル心筋焼灼術	0

・区分2に分類される手術

		手術の件数
ア	靱帯断裂形成手術等	2
イ	水頭症手術等	0
ウ	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等	0
エ	尿道形成手術等	0
オ	角膜移植術	0

カ	肝切除術等	0
キ	子宮附属器悪性腫瘍手術等 2	0

・区分 3 に分類される手術

		手術の件数
ア	上顎骨形成術等	0
イ	上顎骨悪性腫瘍手術等	1
ウ	バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）	0
エ	母指化手術等	0
オ	内反足手術等	0
カ	食道切除再建術等	0
キ	同種死体腎移植術等	0

・区分 4 に分類される手術

		手術の件数
	胸腔鏡又は腹腔鏡を用いる手術（医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則 4 を除く）	136

・その他の区分に分類される手術

		手術の件数
ア	人工関節置換術	24
イ	乳児外科施設基準対象手術	0
ウ	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	11
エ	冠動脈、大動脈バイパス移植術（人工心肺を使用しないものを含む。） 及び体外循環を要する手術	0
オ	経皮的冠動脈形成術、経皮的冠動脈粥腫 切除術及び経皮的冠動脈ス テント留置術	11

18. 歯科点数表の初診料の注 1 に係る基準・歯科外来診療感染症対策加算

当院では、歯科外来診療における感染症対策に十分な体制の準備、十分な機器を有し、下記のとおり院内感染防止に努めています。

- (1) 歯科外来診療の院内感染防止対策について研修を受けた歯科医師が常勤しています。
- (2) 院内感染防止対策について職員への研修を実施しています。
- (3) 口腔内で使用する歯科医療機器等について、専用の機器を用いた洗浄・滅菌処理を徹底する等十分な院内感染防止対策をしています。
- (4) 歯科用吸引装置等により、歯科ユニット毎に歯の切削時等に飛散する細かな物質を吸引できる環境を確保しています。

◎ 歯科外来診療医療安全対策加算

当院では歯科医療に係る医療安全管理対策について、下記のとおり取り組んでいます。

- (1) 緊急時の対応、医療事故対策等の医療安全対策に係る研修を修了した歯科医師が常勤しています。
- (2) 医療安全管理、医薬品業務手順等、医療安全対策に係る指針等の策定をしています。
- (3) 安全で安心な歯科医療環境を提供するため「AED、パルスオキシメーター、酸素、血圧計、救急蘇生セット、歯科用吸引装置」を設置しています。

19. 外来腫瘍化学療法加算

当院では、専任の医師、看護師又は薬剤師を院内に常時 1 人以上配置し、外来腫瘍化学療法診療料を算定する 患者様から電話等による緊急の相談等に 24 時間対応、急変時等の緊急時に入院できる体制を確保しています。また、実施される化学療法のレジメン（治療内容）の妥当性を評価し、承認する委員会を開催しています。

20. 救急患者のトリアージ設定

トリアージ分類はレベルを 3 段階評価で数値が小さいものほど緊急度が高いものとし、レベルに準じた色分けを行い、当院の電子カルテシステムの救急患者受付によって視覚的に判断するものとする。

バイタルサインや病名からの判断基準を設定し、得られた情報が限定的な状況からも分類できるものとするが、医師の総合的な判断によっては必ずしも分類に該当しないことがあることを注記する。また、診察開始時又は再評価までの時間を設定することとし、継続的に観察を続けることとする。

重症患者（赤） （～15 分）	レベル 1	生命・四肢の危機的状態で、ただちに処置、手術が必要なもの（緊急入院治療を要する）
中等症患者（黄） （15 分～60 分）	レベル 2	処置・手術の必要性があるが、多少時間が遅れても生命に危険がない程度のもの（入院治療を要する）
軽傷患者（緑） （60 分～）	レベル 3	軽度外傷、通院加療が可能なもの（入院治療を要さない）

21. 回復期リハビリテーション病棟入院料に係る掲示事項

直近3か月間の退棟患者数

退棟患者の回復期リハビリテーションを要する状態の区分別内訳		
患者構成	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、脳神経嚢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装具訓練を要する状態	18 名

大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は2肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	51 名
外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	0 名
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靱帯損傷後の状態	0 名
股関節又は膝関節の置換術後の状態	6 名
急性心筋梗塞、狭心症発作、その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	0 名
合計	75 名

算出期間:令和 8 年 4 月～令和 8 年 6 月

直近6ヶ月間のリハビリテーション実績指数

前月までの6か月間に回復期リハビリテーション病棟を退棟した回復期リハビリテーションを要する状態の患者数	148 名
上記のうち、実績指数の計算対象とした患者数	112 名
上記の患者の退棟時のFIM得点(運動項目)から入棟時のFIM得点(運動項目)を除外したものの総和①	3131
上記の各患者の入棟から退棟までの日数を、当該患者の入棟時の状態に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数上限で除したものの総和②	47.57
実績指数(①/②) 基準値:42	65.8

算出期間:令和 8 年 1 月～令和 8 年 6 月

2 2. その他

- ◎ 当院では、安全な医療を提供するために、医療安全管理者等が医療安全管理委員会と連携し、より実効性のある医療安全対策の実施や職員研修を計画的に実施しています。
- ◎ 当院では、感染制御のチームを設置し、院内感染状況の把握、抗菌薬の適正使用、職員の感染防止等をおこない、院内感染対策を目的とした職員の研修を行っています。また、院内だけにとどまらず、地域の高齢者施設や病院の感染防止対策の知識の向上のための活動を行っています。
- ◎ 当院は、個人の権利・利益を保護するために、個人情報適切に管理することを社会的責任と考えます。個人情報保護に関する方針を定め、職員及び関係者に周知徹底を図り、これまで以上に個人情報保護に努めます。
- ◎ 当院では、患者さんが安心・納得して退院し、早期に住み慣れた地域で療養や生活を継続できるように、施設間の連携を推進し退院のご支援を実施しております。
- ◎ 当院では、医療従事者の負担の軽減及び処遇の改善に関する取組として下記の事に取り組んでおります。
- ◎ 外来縮小の取組み、医師と医療関係職種における役割分担に対する取組み、医療関係職種と事務職員等における役割分担に対する取組み、医師の負担軽減に対する取組み、看護職員の負担軽減に関する取組み
- ◎ 当院では屋内外を問わず、「病院敷地内全面禁煙」となっておりますのでご理解とご協力をお願いします。
- ◎ 当院は厚生労働省指定の臨床研修病院です。指導医の指導・監督のもと、初期研修医が外来・病棟等で診療を行っております。また、看護師や薬剤師など様々な職種の実習生を受け入れている施設でもあります。日本の未来を担う医療職を養成するために、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。